

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0426
施設名	松中保育園
施設所在地	〒1900033立川市一番町5-8-28
法人名	社会福祉法人 昭島愛育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本の世界の探求(2歳児)

<テーマの設定理由>

新園舎へ移り、2階の光の広場に絵本コーナーを作った。様々な年齢の子どもたちが絵本に触れる中で、子どもたちのつぶやきから絵本の世界を再現したらどのような感じかを感じこのテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

絵本を読む→子どもの反応を見る→つぶやきに沿った活動を取り入れ子どもたちの様子を見てさらなる展開を考える。
年間を通じて、絵本を通して子どもたちのつぶやきを取り入れ、活動に結びつけていった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 1、絵本コーナーの充実(絵本の管理ができるソフトの導入や絵本・図鑑の購入)
- 2、積み木の充実(カプラや白木の積み木の導入)
- 3、職員の積み木研修への参加
- 4、表現活動に活かせる粗大運動用遊具の導入
- 5、園外保育の充実を図った

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

年間計画に沿って活動

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

クラスの前にいたちょうちょのさなぎをちょうちょになるまで育てたり、球根を植え、花が咲くことを楽しみにしたりする活動と、「おばけ怖い」というとある子どものつぶやきから「おばけなんてないさ」「おばけのコンサート」の絵本を中心に活動を展開した。「おばけ屋敷ごっこ」「ハロウィンパーティー」「おばけのコンサートの劇遊び」と子どもはとても楽しみに活動に参加し最後はおばけ＝怖いではなく、行事を楽しむ姿に変化した。「だるまさんが…」シリーズでいろいろな気分のだるまの真似をしてとても表情が豊かです。また、蝶々のさなぎが成長してゆっくり出てくる姿を『がんばれ!!』と応援している子どもたちの姿も時間をかけて見守った。色水遊びでは「わ!色変わった。」「また変わった!」と大喜び。お化け屋敷では、子どもたちの怖いという気持ちも認めつつ「たくさんのおばけをみつけよう!!」と怖いから避けるのではない声掛けを工夫した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

年間を通じて、絵本を読んだ後に実物を目の前にした活動のほうが、子どもたちが興味津々で話を聞こうとする姿があった。さなぎ、球根、色水遊びなど、変化することに「不思議だなー」思う活動を今後さらに深めていけるようにしたい。